



SOFTWIDS

■ 目次

- 1.ごあいさつ
- 2.経営哲学
 - (1)経営理念
 - (2)行動規範
- 3.当社の事業
 - (1)サービスメニュー
 - (2)既存事業の実績と特長
 - (3)保育ネットの概要
 - (4)ザ・ワールド・バランスの概要
 - (5)GBSの概要
- 4.価値創造ストーリー
- 5.知的資産
 - (1)人的資産
 - (2)組織資産
 - (3)関係資産
- 6.将来ビジョン
- 7.会社概要・沿革
- 8.あとがき

1. ごあいさつ

SOFT KIDSの知的資産経営報告書をご覧ください、誠にありがとうございます。代表の一橋英樹です。

私には、夢があります。
家族で宇宙旅行がしたいのです。
宇宙人と一緒にお酒を飲みたいです。
癌が注射1本で治る医学を見たいです。
恐竜がいる動物園を見たいです。

これらは実現不可能でしょうか？

SOFT KIDSは2008年1月に、WEBシステム開発工房として、1人でスタートしました。
採算度外視。とにかく、お客様に喜んでいただけるプラスαは何なのかを、いつも考えていました。
以来5年間、「信用、信頼、フルパワー」を心がけ、WEBシステム開発、ホームページ・ネットショップ制作、WEBサイト運営など、サービスをご提供させていただきました。

当初は右も左も分からず、お客様にもよくお叱りを受けましたが、走り続けることができました。これといって自慢できる取り柄もございません。
しかし、そんなSOFT KIDSを支え続けてくれる、お客様、仲間、そして家族が何よりの自慢です。

私は、制作に1つのポリシーを持っています。

「制作物は自分の子供である」

育て方次第で無限の可能性を秘めているこれらに、我が子のような愛情を持っています。また、常に子供のように柔軟で、自由な発想を持ち続けています。
そして、これまで培ったノウハウで、子供たちの未来に貢献したいと考えています。SOFT KIDSの名前の由来です。

私の夢は実現不可能でしょうか？

私は可能だと確信しています。

世界の各地では争い事が絶えず、軍事に莫大なお金と要員が投入されています。これらを研究に向けられる世の中になれば、必ず実現できると考えています。
SOFT KIDSは、WEBサービスを通じて、その夢の実現を後押しし、子供の明るい未来につなげるべく、努力していく所存です。



いちし ひでき

子供の明るい未来のための、地球づくり。

環境、地域、教育、体育にITを有効利用し、社会貢献を目指します。

2. 経営哲学 … (2)行動規範

SOFT KIDSでは、「子供の明るい未来のための、地球づくり。」を実現するために、何よりもまず自分たちが、子供に誇れる立ち居振る舞いをすることが大切だと考えています。そこで、31の行動規範を設けました。日にちと連動させることで、自然と全ての規範が心に刻まれます。

2013年1月

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
	1 大きな声でおはよう と言いましょ	2 誠意をもってごめんな さいと言いましょ	3 感謝をもってありが とうと言いましょ	4 自分から他人を愛し ましょ	5 自分が愛するものを 見つけましょ	6 やらされる100発よ りやる気の1発でいき ましょ
7 「私にはできない」では なく、「私だからできる」 を選びましょ	8 「損得」よりも 「善悪」で組み ましょ	9 100年後の子供たち から選ばれるように しましょ	10 当たり前のことを、 バカになって、ちゃん とやりましょ	11 フルパワーでいきま しょ	12 不可能を可能にする のがプロだと考えま しょ	13 明日死ぬつもりで生 きましょ
14 永遠に生きるつもり で学ばましょ	15 履き物を そろえましょ	16 地域に目を 向けましょ	17 難しきは易く、易きは 深く考えましょ	18 最も危険なのは、リス クを負わないことと 考えましょ	19 仕事無くして人育たず と思いましょ	20 競争相手ではなく、ゴ ールを見て走りましょ
21 千日をもって初心と し、万日をもって極み としましょ	22 どんなことにも素直 に感動しましょ	23 先輩を敬いましょ	24 相手を敬い、自己を 敬い、謙遜しましょ	25 人の限界を知り、自然 や宇宙の摂理を重ん じましょ	26 考えてからゼロ秒で 行動に移しましょ	27 今やっていることが、 どこかにつながると信 じましょ
28 何かを変えるなら、 まず自分からと考え ましょ	29 不安があるのが普通 だと考えましょ	30 できない人をバカにする のは、バカ。できる人が フォローしましょ	31 得点ボードではなく、 ボールをしっかり見ま しょ			

■ 3. 当社の事業 … (1) サービスメニュー

既存事業

WEBシステム開発

ホームページ制作
ネットショップ制作

サイト運営

新規事業

保育ネット
(2013年4月開始予定)

ザ・ワールド・バランス
(2014年夏開始予定)

GBS
(鋭意開発中)

3. 当社の事業 … (2)既存事業の実績と特長

	WEBシステム開発	ホームページ・ネットショップ制作	サイト運営
実績	・ショッピングカート ・在庫管理 ・携帯動画配信 ・携帯Eラーニング ・写真投稿型コミュニティ ・メルマガ配信システム - 他	・物販サイト ・コーポレートサイト ・食品販売サイト ・サービス紹介サイト ・スマートフォンサイト (大手メーカー、大学、石材店、食料品店、カーディーラー、ブライダル関連、貿易関連など)	・物販サイト ・コーポレートサイト ・食品販売サイト ・飲食店サイト ・サービス紹介サイト
特長	・要求仕様の綿密なすり合わせから、実装およびテストまで、詳細な設計により実施。 ・お客様との認識違いによるトラブル、納期の遅れ、リリース後のトラブルが少ない。 ・技術者目線ではなく、ユーザー目線を意識したユーザービリティ。	・USP(※1)とCV率(※2)とデザイン性を重要視。 ・ページというより、1人の優秀な営業マンを生み出している意識で対応。 ※1 自社のみが持つ独特の強みのこと。 ※2 サイト訪問者数に対して実際に取引に結びついた人の割合。	・SEO(※1)、SEM(※2)、LPO(※3)、アクセス解析、WEB心理学など駆使した、より対投資効果の高い集客計画。 ※1 検索エンジン上位表示のための手法。 ※2 検索エンジンを利用したマーケティング手法。 ※3 ウェブサイトの売り上げや会員登録を増やす手法の1つ。



3. 当社の事業 … (3)保育ネットの概要

昨今、様々な国際摩擦により、無駄な時間と労力が浪費されている。そのほとんどはメディアによる情報から増幅させた偏った解釈にすぎない。対立関係より、協力関係の方が双方の利益を生むことは誰でも知っていて、大人は子供に喧嘩はやめなさいと言うが、大人は矛盾した行動を取ってしまいがちである。そこで、小さい時から他国の子供たちと継続的なふれあい交流ができる仕組みがあれば良いのではと考えた。これは「人は知らない人に敵対心を持ち、知っている人に親近感を持つ」という、人の本質を元になっている。国家の歴史教育に左右されず、自身の経験と判断で行動できる人が、1人でも多く増えて欲しい。まずは国内で、保育機関に便利だと思って頂けるサービスの提供を目指します。

概 要

保育機関に特化したコミュニティサービス。

- ・誰でも利用できるシンプル設計。
- ・システム自体が収益を生む仕組みを持ち、保育機関の補助財源にできる。
- ・FaceBookやツイッターとも連動せず、プライバシーを極力守る。
- ・他の保育機関(他国含む)と交流できる。

目 的

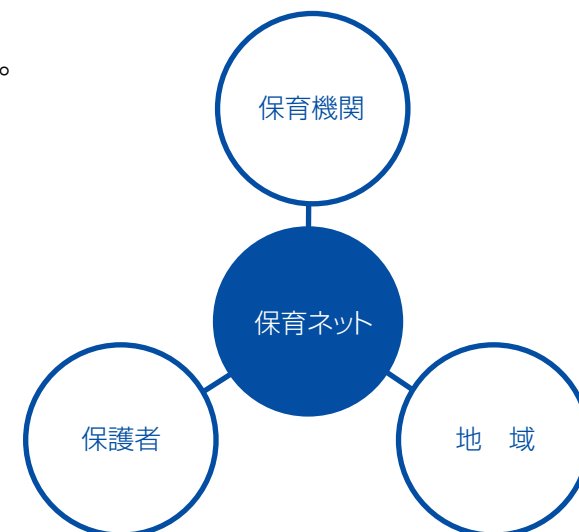
保育機関、父兄、祖父母、地域との円滑なコミュニケーションを実現。
絆を強めながら、保育が抱える様々な問題を解決する。

メリット

保育機関 … 父母との対応が楽になる。保育財源の補填。
父母 …… 安心感が得られる。
祖父母 …… 楽しみが増える。
地域 …… 交流が増える。

リリース予定

2013年4月



3. 当社の事業 … (4)ザ・ワールド・バランスの概要

昨今、様々な国際摩擦により、無駄な時間と労力が浪費されている。そのほとんどはメディアによる一部の情報から増幅させた偏った解釈にすぎない。見た目にとても怖く、話し方も乱暴な男がいたとする。少し敬遠するだろう。しかし、老人介護施設の所長で、趣味は編み物と知ったらどうか。たった1つの情報が、感情を180度変えることはよくある話だ。ならば、みんなが知らないその国の良いところだけを集めたらどうかと考えた。国家の歴史教育に左右されず、自身の経験と判断で行動できる人が、1人でも多く増えて欲しい。

概 要

ある国の人々が、他国の良い点だけを投稿していくCGM(※1)。

- ・誰でも利用できるシンプル設計。
- ・自らの投稿が、何人のファンを生み出したかが分かる。
- ・全ての投稿が、自国語で見られる。

※1 利用者がコンテンツを生成するメディア。

目 的

国際摩擦の抑制。
心の国境を撤廃し、対立関係から協力関係への移行を促進する。

メリット

利用者 …… 充実感が得られる。
閲覧者 …… 知見が広がる。
人類 …… 無駄な不安からの解放。

リリース予定

2014年夏



3. 当社の事業 … (5)GBSの概要

使わないが捨てられない物がどんどん溜まる。やがて使わないものの管理と保管場所で生活が圧迫される。物を大切にす
る親の心は、私にも引き継がれ、大事にしたい。しかし、使わないのに置いておくことは、場所と管理コストの無駄である。自
分はいらない物でも、欲しいと思っている人が実は三軒隣にいたりするもの。ならば「欲しい」「あげたい」を簡単に結びつ
ける仕組みが有ればと考えた。必要な時に、必要な人へ。浮いたお金でちょっと贅沢を。そんな世の中を作りたい。

概 要

捨てるにはもったいない物、売るほどでも無い物を、提供してくれる人、または欲しい人を近くで見
つけることができる仕組み。(GBS=Gomi Bokumetsu Service)

- ・誰でも利用できるシンプル設計。
- ・距離を指定できる。
- ・物品の授受には宅配を利用しない。
- ・1000億円とも言われるリユース可能品を有効利用できる。
- ・温室効果ガスの削減。
- ・10000人以上の雇用が生まれる可能性。

目 的

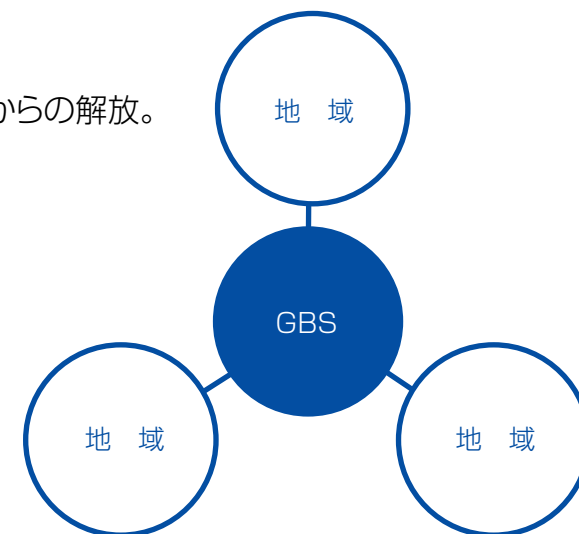
所有から共有へのシフト。
所有することで発生する管理コスト、捨てることで発生する罪悪感からの解放。
物と人とのうまいお付き合いを実現。

メリット

提供者 …… 捨てる罪悪感からの解放。
受領側 …… 経費削減。
地域 …… 新しい出会いと交流、内需の拡大。
ゴミ処理費削減。温室効果ガス削減。

リリース予定

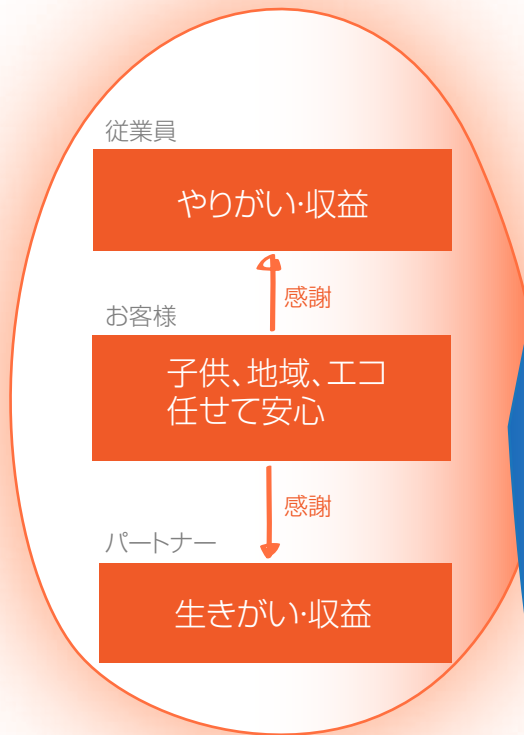
未定



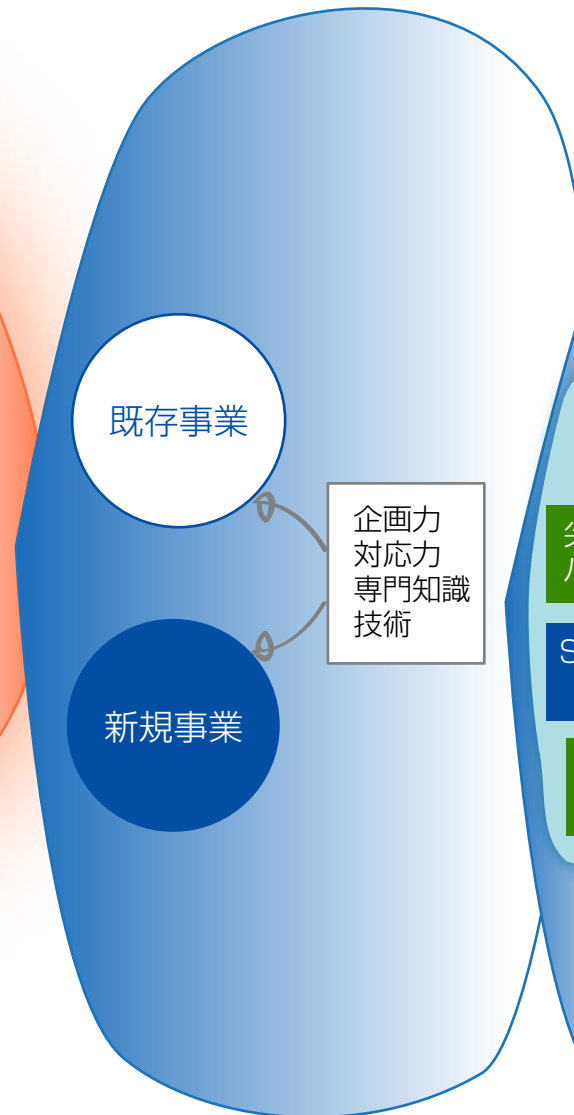
4. 価値創造ストーリー

価値創造のために効果を発揮している
当社の知的資産の関係は次のとおりです。

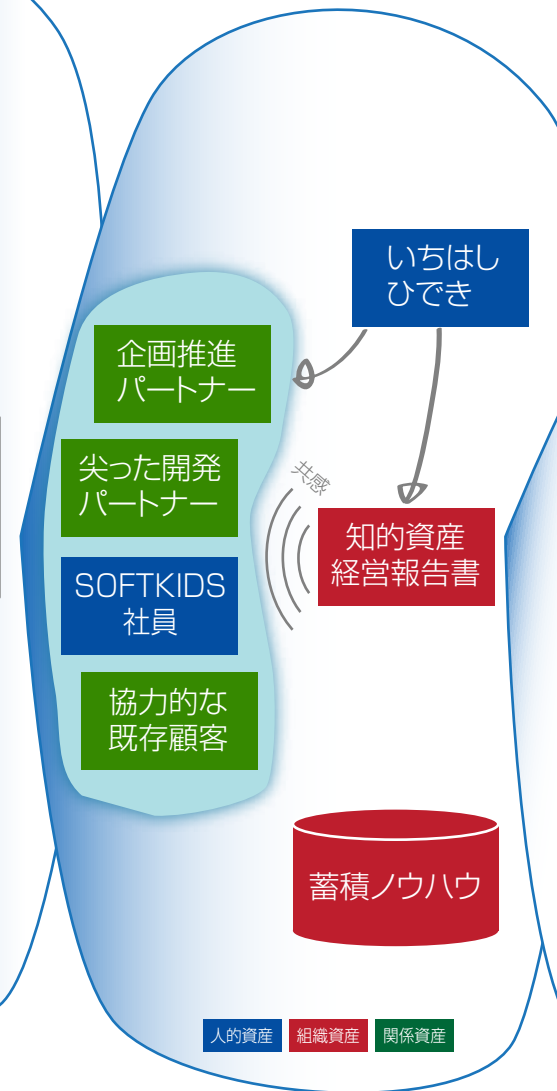
①提供価値



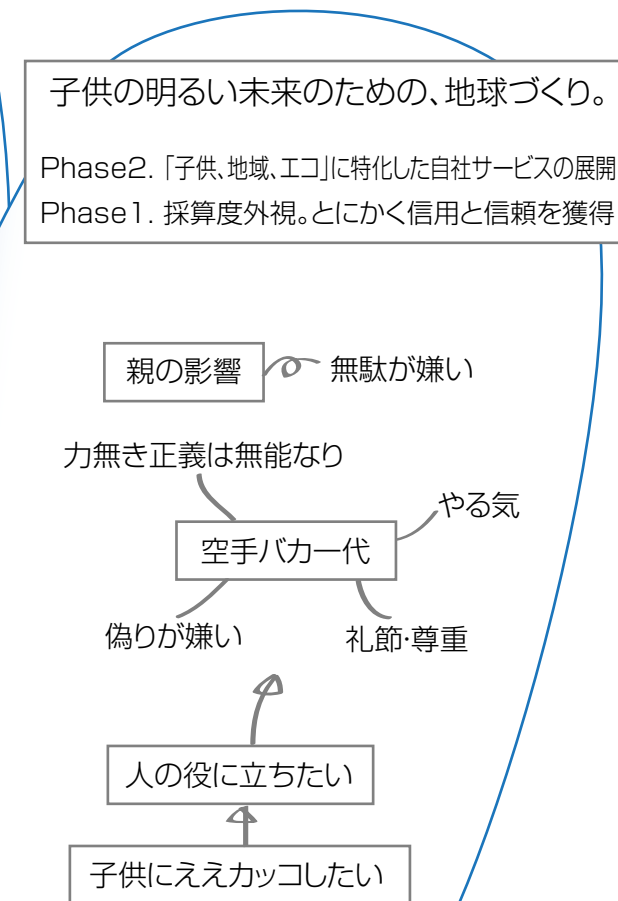
②提供サービス



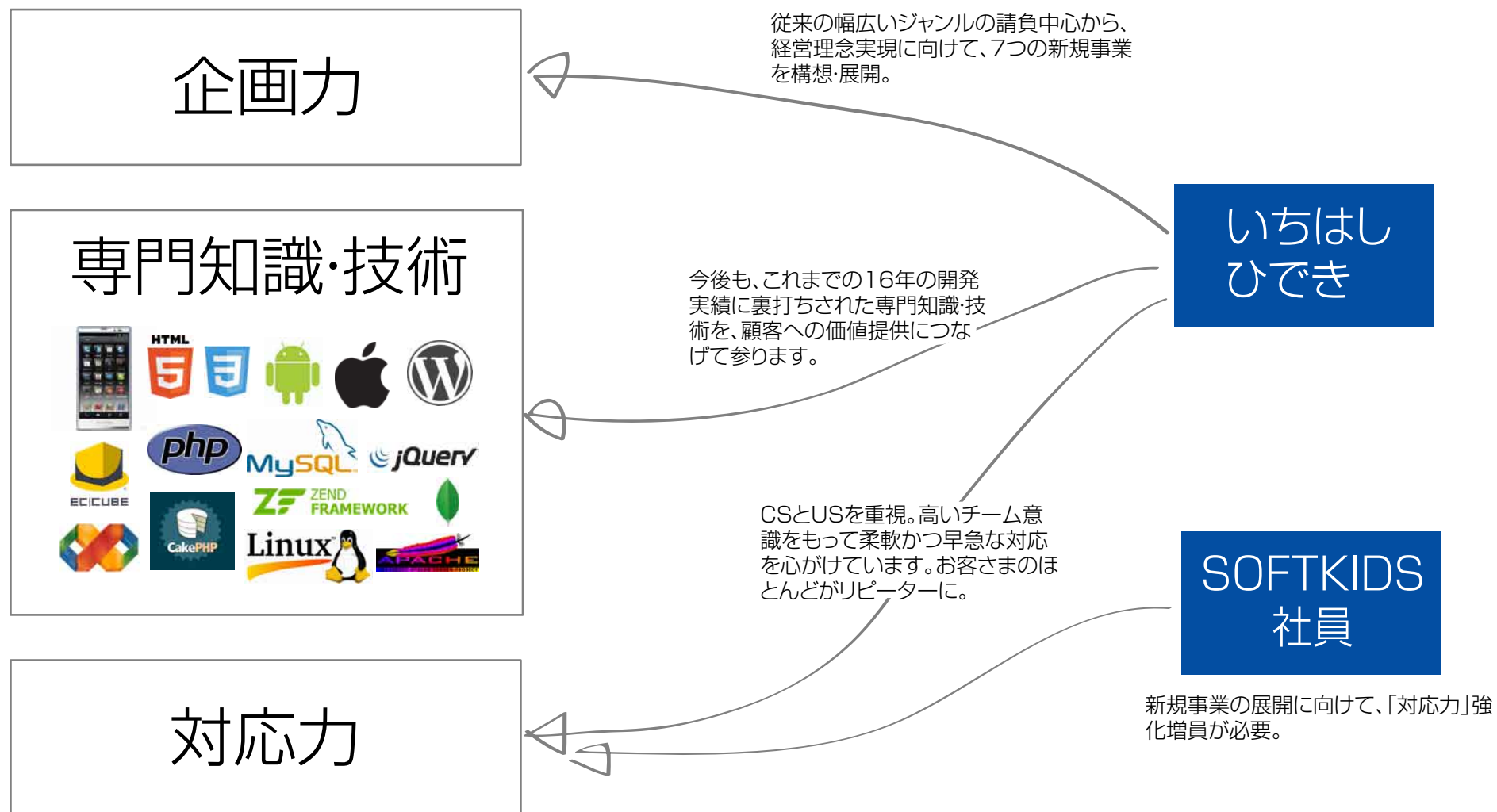
③それを実現できる根拠



④その根底にある考え方



5. 知的資産 … (1) 人的資産



5. 知的資産 … (2)組織資産

企画推進
パートナー

尖った開発
パートナー

SOFTKIDS
社員

協力的な
既存顧客



共感

知的資産
経営報告書

2012年2月に発行した「知的資産経営報告書」は、当社の考えに賛同してくださる「企画推進パートナー」「尖った開発パートナー」「協力的な既存顧客」「SOFTKIDS 社員」の参集に重要な役目を担っています。

ある新規のパートナーは、この報告書を事前に見つけ、当社の考えに共感してくださったことで、取引のご縁が生まれました。

専門知識・技術

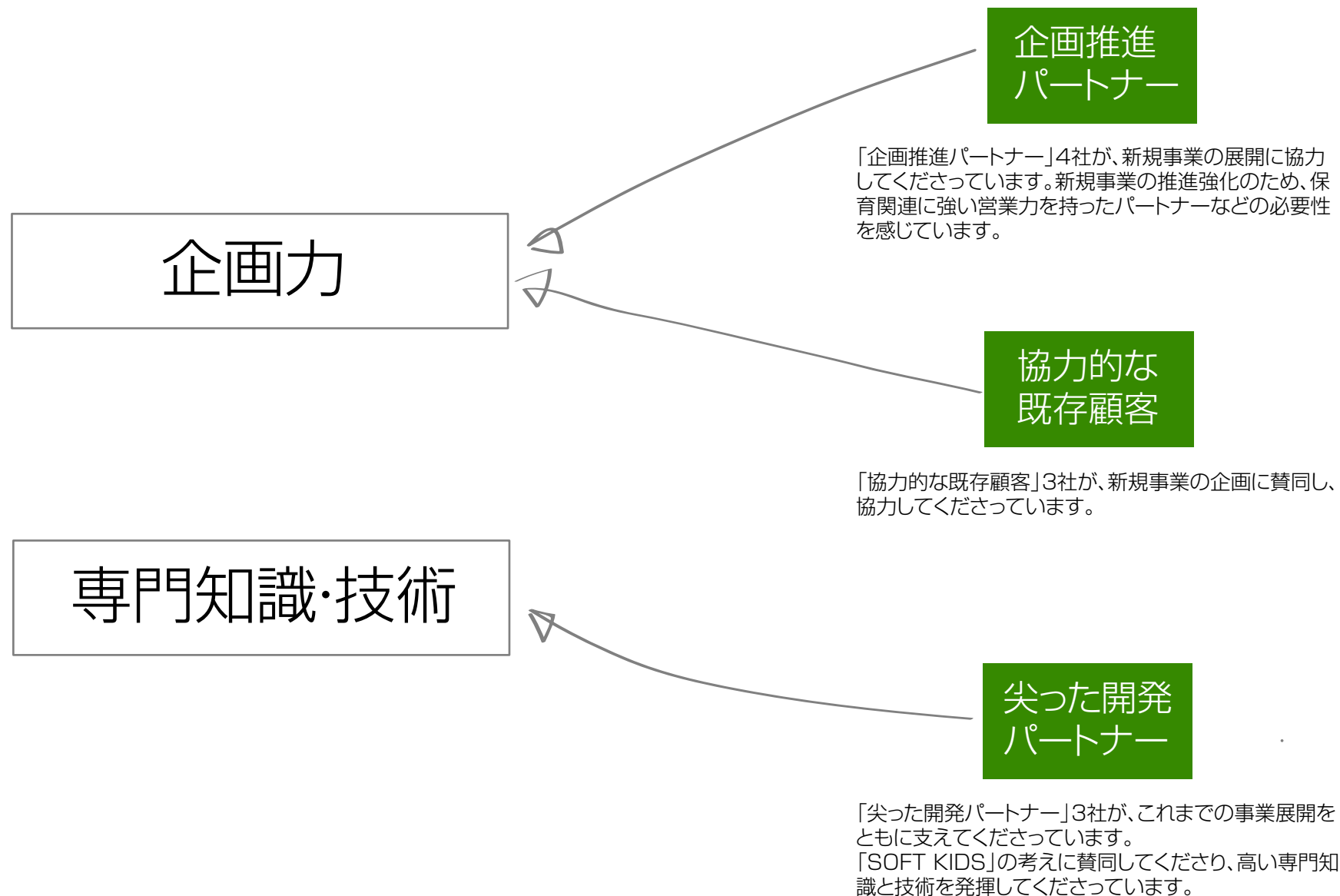
対応力

蓄積ノウハウ

実績

採算度外視。とにかく
信用と信頼を獲得。

5. 知的資産 … (3)関係資産



6. 将来ビジョン



子供の明るい未来のための、地球づくり。

7. 会社概要・沿革

〔会社概要〕

社名	SOFT KIDS
創立	2008年1月
所在地	520-2331 滋賀県野洲市小篠原2101-2 8-C号室
代表	一橋英樹
事業内容	WEBシステム開発、ホームページ制作、ネットショップ制作、サイト運営、保守管理代行 保育ネット(2013年4月開始予定)
ホームページ	http://softkids.jp

〔沿革〕

2008年1月	WOMBAT-CRAFTとして自宅を事務所として個人事業開始。 会社の規制や枠組みを超えた、本当の顧客満足を追求したソフト開発を目差す。
2009年1月	事務所をコラボしがに移設。 事業を拡大するために、事務所を借りる。
2010年2月	事務所を草津SOHOに移設。SOFT KIDSに改名。 これまで培ったWEBシステム開発技術を子供と地域のために生かすため、 改名し事務所をより機能的な駅前に移転。
2013年2月	事務所を野洲に移転。 新事業の展開に向けて、心機一転。

8. あとがき

【知的資産経営とは】

知的資産経営とは、従来バランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。よって、「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、即ち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠しています。

【注意事項】

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。そのため、将来にわたり当社の取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施、又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことを、十分にご了承願います。

【作成支援】

当報告書は次の団体・個人により作成支援されています。

滋賀県中小企業団体中央会 中嶋 和繁
中小企業支援ネットワーク強化事業登録専門家 中小企業診断士 小山 俊一

【お問合せ先】

SOFT KIDS EMAIL info@softkids.jp

【発行・作成】

2012年2月 初版
2013年2月 第2版

発行 SOFT KIDS代表 一橋英樹